

○あま市と関わってきたこと

成人式実行委員

令和4年 1月9日

あま市 成人式

甚目寺公民館 ・ 美和文化会館

○活動を通して感じたこと、気づいたこと

来年に活かして欲しい！！

1. 実行委員の男女の数の差

女子が多い

慣れない着物では動きに制限がかかる

- ・移動
- ・物を運ぶ

- ・「**広報あま**」で募集する
- ・実行委員自身が**SNS**などを用いて募集する
- ・**一つ下の学年**からも募集する

2. 恩師の出欠確認

今回→事前確認

当日…欠席の先生が**出席**

- ・当日に恩師の出欠確認

○あま市への願い、チャレンジしてみたいこと

子どもたちに

運動の機会 と 交流の場

の提供

- ・市から提供する
→保護者からの信頼を得る
- ・運動が苦手な子どもが
達成感を得ることが出来る運動

子どもたちに
運動の楽しさを知ってほしい

- ・12個の**小**学校・5個の**中**学校
- ・小中学校のタブレット教育
- ・あま市内の**高**校生・**大**学生

こども間のコミュニティを
市単位で広げたい

あま市巡回バスをあま市の更なる発展に役立てたい

現在：

- ・運行時間・本数→毎週火・金・日の9時～16時の時間帯に2本運行
- ・運行ルート→3ルートに分かれており、市の施設や駅、名鉄バスなども停留所になっている
- ・利用者層→若年層の利用は少ないと考えられる

停留所に市役所や公民館などの施設が指定されている
→市内の施設の移動に優れている

あま市は都市へのアクセスに優れた街。都市に移動する際にバスが有効に活用できるようになれば利用者は今より増えるのではないか。

バスの利用者を増やし、 あま市内の交通の便を向上させる為には

意見：

- 新たな利用者層を獲得する。
若年層の利用者を増やす為に通勤・通学の時間帯にバスを運行する。
- 巡回ルートを短くすることで目的地に到着するまでの時間を短縮する。
- 運行本数を増やす。

今よりもあま市巡回バスが各層に利用されやすくなり、生活に役立てられるようになって欲しい。

障がい者とその家族、関わる人たちすべてが
暮らしやすい町に。

人と人をつなげる機会を

障がい児の子どもを持つ
若い世代の親



子育て期間を終えた
障がい者を持つ親

- ・将来どんな人になるんだろう？
- ・一緒に生活するのでさえ大変...
- ・この先、子どもとどう接していけばいいのだろう...

- ・大変だったこと、苦労したことを若い世代に伝えたい！
- ・同じ苦しい思いをしてほしくない

具体的な施策

- ・相談会の開催

- ・SNSやインターネットを使った相談システムの整備

→ 相談できるだけがメリットではない。
同じ状況にいる人たちでつながりができる！